

参加無料
定員：100名

静岡大学・中日新聞連携講座2017

健康・医療の可能性を拓く

第1回 2017.9.12(火) 18:00~19:30

酵母の秘密を解き明かせ！～生命科学の発展を支える酵母たち

パンやお酒を作る酵母は、生命科学のいい研究材料です。酵母は栄養が不足すると、異性どうしが結ばれて「結婚」をし、こども(胞子)を作ります。そんな、酵母の栄養応答に関する最新の研究成果を解説します。また、新しく始まった高校生を対象とした理数才能育成プロジェクトを紹介しします。

講師：瓜谷 真裕 (静岡大学理学部 教授)

第2回 2017.10.10(火) 18:00~19:30

キノコは自然の化学工場～生命現象をつかさどる分子を求めて

菌類に属するキノコは、動植物と違う分子(化合物)を作り出しています。そして、その特有な分子が時として、人には毒になったり薬になったりします。キノコ由来の毒、薬等について、私の研究を中心に紹介します。

講師：河岸 洋和 (静岡大学グリーン科学技術研究所 教授)

第3回 2017.11.14(火) 18:00~19:30

光技術が開く医療の可能性～メディカルフォトリクススの最前線

光とイメージセンサを組み合わせた光技術が医療に応用されようとしています。電子工学研究所では、時間・空間・波長・強度において極限性能を目指したイメージセンサを開発して、最先端光技術を医療に貢献する研究を行っています。これらの研究を紹介しします。

講師：三村 秀典 (静岡大学電子工学研究所長)

第4回 2017.12.12(火) 18:00~19:30

医薬品開発を加速する分子のチカラ

医薬品はとても身近なものですが、その薬効を示す中身のほとんどが有機分子であることは、あまり表に出ない部分です。本講演では、今注目を集めるペプチドという有機分子を中心に、我々が近年研究を進める医薬品開発を加速する分子とそのチカラについて紹介しします。

講師：鳴海 哲夫 (静岡大学工学部 准教授)

第5回 2018.1.16(火) 18:00~19:30

手術が変わる！～メディカルフォトリクススの新技術

浜松地域には、地域の優れた光・電子技術やものづくり技術と医療を融合させて医療機器の開発を行う「はままつ医工連携拠点」があり、浜松医科大学を中心として地域の産学官7団体が共同で運営しています。ここから生まれた医療機器や医療技術を紹介し、メディカルフォトリクススの高い技術力について説明しします。

講師：山本 清二 (浜松医科大学理事・副学長/イノベーション光医学研究室)

静岡大学は現在、浜松医科大学等と連携しながら「光の先端都市・浜松」を目指し、光技術と医療をつなげる取り組みを進めています。また、酵母やキノコなどを素材に、自然に学びながら、健康・医療に貢献する様々な研究を展開しています。今年度の静岡大学・中日新聞連携講座は、様々な切り口から健康・医療の新たな可能性を拓く研究を紹介しします。

会場：静岡大学浜松キャンパス附属図書館浜松分館 (S-Port) 3階大会議室

(浜松市中区城北3-5-1)

JR浜松駅北口バスターミナルより、遠州鉄道バス15番または16番乗り場から乗車、「静岡大学」バス下車(所要時間約20分)。

申込方法 下記のいずれかによりお申込みください。(先着順)

[メール] LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

[FAX] 054-238-4295

[葉書] 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学イノベーション社会連携推進機構 連携講座係

※郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、講座名、参加回を明記。

問い合わせ 静岡大学イノベーション社会連携推進機構

TEL 054-238-4817 [平日9:30~16:00]

メール: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

主催：静岡大学・中日新聞東海本社